

平成 28-29 年度（2016-2017）報告書

2016 年には第 3 回瀬戸内国際芸術祭が開催され、県外から多くの来訪者があった。過去の 1, 2 回目の開催時と比較し地域に与える影響を、観光者および地元民、双方の視点から研究を行い、その結果を国際学会で報告した。また、研究の成果は NHK テレビ番組、Discover 四国「ディープなコトまで見せます！島アート瀬戸内国際芸術祭」で紹介された。

観光者の視点からは、さらなる満足度の向上や地域資源の活用のための地域を調べる力を、また、地域住民の視点からは地域住民が住みたい地域づくりに欠かせない地域医療のレベル向上を図るため、研究や教育を続けてきた。研究については前述のとおりである。教育の面では、前者については、学生の地域調査の能力向上の為、地域調査法を正規科目として開講することになった。これに必要な地域調査法の教材の出版もできた。後者については、看護学科で学ぶ学生達と定期的に島しょ部の住民を訪問し地域がもつ問題点や改善に向けた聞き取り調査、地域医療の現場体験を続けてきており、将来若い医療スタッフの養成につなげるための現地学習を継続している。